

領域：	グローバル		
テーマ：	開発経済－アフリカ各国の経済成長－		
担当者名：	杉本喜美子		
開講時期：	後期：月曜日 4・5・6 限	募集定員：	25 名
内容：	資源価格高騰のおかげで、2003 年以降アフリカ経済は順調な成長を遂げてきた。しかし、アフリカ域内の貧困格差はますます広がり、2014 年後半からは再び資源価格が下落し始めた。そこでアフリカ各国が持続可能な経済成長を達成するため、どの分野を強化することが求められているのか検証する。アフリカのケースを通して、政策的な提言を行う経験をしてみよう。		
到達目標：	African Development Bank、IMF などが発行するアフリカ経済展望や各国経済レポートを日本語及び英語で輪読する。各自が担当する国に関し、データを集め、統計処理を行う。その結果を発表・議論しあうことで、総合的に、アフリカ経済の現状を把握する。 ①論理的に思考する力 ②プレゼンテーション・スキルを伸ばすことを目指す。		
講義方法：	1. 各テーマに関する講義。2. 各国経済レポートの輪読。 3. 各国データの収集と統計分析。4. 各テーマに即した各国経済の現状を発表。 5. 互いの結果を比較し討論。 各自 1ヶ国、担当国を決める。興味のある国を見つけておくこと。		
準備学習：	アフリカで何が起きているのかを、新聞等で把握すると同時に、開発経済学の基本を理解しておこう。大塚啓二郎著の『なぜ貧しい国はなくなるのか 正しい開発戦略を考える』（日本経済新聞出版社）が参考になる。		
成績評価：	出席(10%)、各回の輪読・作業・発表における積極的参加(40%)、最終プレゼン(20%)とレポート(30%)を総合的に評価する。		
欠席基準：	授業実施回数の 3 分の 1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は、単位を修得することができない。		
講義構成：	1. 開発経済で分析できるテーマを概観する。担当国の選択。 2-3. 経済成長の理論と検証。アフリカ各国の経済成長における共通性と相違性を把握 4-5. 貿易の理論と検証 6-7. 直接投資と援助に関する理論と検証 8-9. 途上国に適した金融市場の深化を検証 10-11. MDG の現状把握と、貧困からの脱却問題を考察 11-12. 各国経済政策の内容把握と相互比較 13-14. 総括①：担当国が抱える経済問題の全体像をまとめ、発表する。 15. 総括②：各テーマに関して、その結果を互いに比較し、討論する。		
履修条件：	「経済学入門」を修得しておくことが望ましい。		
推奨科目：	「国際協力と開発」「国際経済と開発」		
選考方法：	人数が多い場合は、選考。		
備考：	必ず PC を持参すること。各テーマに関する資料は、My KONAN 上で添付ファイルの形で掲載するので、必ず講義前にチェックしてから授業に出席すること。		
説明会：			